

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	府中市子ども発達支援センター（児童発達支援事業）		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日		～ 2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2025年 10月 15日		～ 2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 34
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの状態像・ニーズに合わせ必要な支援を検討し提供している。	<p>日常の連絡体制を整え保護者が相談をしやすいようにしている。構造化した環境設定や、場面に合わせた視覚的に分かりやすい絵カードを使用し活動に見通しが持てるようにしている。</p> <p>今年度は状態像を把握するための標準化されたアセスメントツールとして発達のものさしを導入した。</p> <p>また、様々な職種の視点から見立てについての研修を行っている。</p>	<p>保護者のニーズを取り入れながら、所属集団で経験することが望ましい活動や行事等について、必要な配慮をした上で実施する。子どものことをしっかり見立て、個々に合わせた課題を提供するために、標準化されたアセスメントツールのさらなる有効な活用方法を検討する。</p>
2	感覚遊び（感覚統合を目的とした支援）ができる環境が充実している。	<p>子どもによって刺激を求める量と質が異なるため、子どもの様子や状況によって、感覚遊具のスピードや回転をコントロールをしながら活動を行っている。</p> <p>感覚遊びを使って、手や足からの感覚入力に役立てている。実践的な研修やプログラムの組み立て方についての研修を行っている。</p> <p>また、保護者に向けてどんな遊びがあるかを体験してもらう機会を作っている。</p>	<p>常に職員間で情報を共有し、個々に合わせた適切な感覚や活動を提供する。</p> <p>感覚の過敏や鈍麻など、個々の違いを捉え、遊びの工夫を行い、楽しく心地よい感覚を増やす。</p>
3	子どもからの様々な発信を流さず受け止める、子どもの行動の意味を考え、対応について専門職の視点を含め、チームで検討している。	<p>それぞれの専門性の視点からクラス職員と一緒に支援プログラムを検討、実施している。新たに今年度から集団活動では取り組みにくい課題や個別性の高い支援、課題の発見を目的に「個別支援」の枠組みを明確にして実施した。</p>	<p>引き続き、子どもたち一人ひとりをきちんと理解して関わることが、課題への指導も含めて個人の尊重になると考え、アセスメントや見立てを共有し、チームとして対応する。</p>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新人職員、OJT担当者（On the Job Training）が業務を覚える見通しの持ちにくさがある。	<p>新人職員に対する育成が、新任研修終了後はOJT担当者に一任されがちになっている。担任業務、職員として必要な業務の理解を習得するにあたっての伝え方（内容や順序）が標準化されておらず、口頭伝達になってしまい、OJT担当者によって差が生じている。</p>	<p>新人が学ぶべき内容を優先順位や順序をつけてマニュアル化する。到達目標を明確にし、分かりやすくすることで新人職員側もOJT担当者側も見通しが持てるようにする。</p>
2	保護者とクラス担任で年間を通して話す機会が少ない。	<p>担任との関係づくりやいろいろな職員と関わる機会として、年度初めに自主送迎期間を設けているが、年間を通すと、他は勉強会、行事が中心になる。</p> <p>個々の保護者と担任でじっくり話せるような来園機会が少なかった。</p>	<p>保護者支援、保護者来園の機会作りについて、年間通して見直し、よりクラス担任と話せる機会、来園しやすくなる工夫をする。</p>
3	事故防止マニュアル、防犯マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し保護者にも説明を行っているが、訓練や研修の実施については保護者に浸透していない。	<p>マニュアルについては契約時に説明を行っているが、契約時には伝える情報量が多く、保護者の印象に残りにくい。その後は保護者が見える場所においてあるが浸透していない。</p> <p>保護者やお子さんも一緒に訓練を行っている場合は週間プログラムのお知らせの際に周知をしているが、職員のみで行っている訓練についての説明は不十分。</p>	<p>マニュアルの置き場について分かりやすく伝える。</p> <p>通園利用にあたり非常時の対応への不安を軽減するために、職員が非常時の動きの確認や、徹底のためにおこなっている訓練などについても、お便りなどで利用者に伝える（緊急時や感染症対策、救急対応、ケガや発作の対応など）</p>